



外線コール転送の制限

- [外線コール転送の制限の概要（1 ページ）](#)
- [外部コール転送の制約事項の設定タスク フロー（2 ページ）](#)
- [外線コール転送の制限の連携動作（7 ページ）](#)
- [外線コール転送の制限（8 ページ）](#)

外線コール転送の制限の概要

外線コール転送の制限は、ゲートウェイ、トランク、およびルートパターンを、システムレベルでオンネット（内部）デバイスまたはオフネット（外部）デバイスとして設定するために使用できる機能です。デバイスをオフネットとして設定すると、外部デバイスへの外線コールの転送を制限できるため、電話料金の詐欺行為の防止に役立ちます。

[オフネット間転送のブロック（Block OffNet to OffNet Transfer）] サービスパラメータが [はい（True）] に設定されている場合に、オフネットゲートウェイまたはトランクでコールを転送しようとする、コールを転送できないことを通知するメッセージがユーザの電話に表示されます。

この章では、次の用語を使用します。

用語	説明
オンネットデバイス	オンネットとして設定されており、ネットワーク内部にあるものと見なされるデバイス。
オフネットデバイス	オフネットであると思われ、ルーティング時にネットワーク外部にあるものと見なされるデバイス。
ネットワークの場所	ネットワークを基準にしたデバイスの場所（オンネットまたはオフネット）。
発信側	転送されるデバイス。システムはこのデバイスをオンネットまたはオフネットと見なします。

用語	説明
着信側	転送されたコールを受信するデバイス。システムはこのデバイスをオンネットまたはオフネットと見なします。
DN への着信コール	オンネットまたはオフネットとして分類するために、ゲートウェイまたはトランクコール分類設定だけが使用されるコール。ルートパターンコール分類設定は適用されません。
発信コール	トランク、ゲートウェイ、およびルートパターンのコール分類設定が考慮されるコール。ルートパターンの[デバイスの上書きを許可 (Allow Device Override)]設定により、ルートパターンコール分類設定の代わりに、トランクまたはゲートウェイコール分類設定が使用されるかどうかが決まります。

外部コール転送の制約事項の設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	コール転送制限のサービスパラメータの設定 (2 ページ)	外部コールが別の外部デバイスや番号に転送されるのをブロックします。
Step 2	着信コールを設定するには、次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> クラスタ全体のサービスパラメータの設定 (4 ページ) ゲートウェイでのコール転送制限の設定 (5 ページ) トランクでのコール転送制限の設定 (5 ページ) 	ゲートウェイ設定またはトランク設定を使用するか、クラスタ全体のサービスパラメータを設定して、オンネット (内部) またはオフネット (外部) としてゲートウェイとトランクを設定します。
Step 3	発信コールの設定 (6 ページ)	ルートパターンの設定を指定して、転送機能を設定します。

コール転送制限のサービスパラメータの設定

別の外部デバイスまたは番号への外部コールの転送をブロックするには、以下の手順を実行します。

手順

- Step 1** Cisco Unified CM の管理のユーザ インターフェイスから、[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- Step 2** [サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、[サーバ (Server)] ドロップダウン リストから、設定する Cisco Unified CM サーバを選択します。
- Step 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リストから [Cisco CallManager (アクティブ) (Cisco CallManager (Active))] を選択します。
- Step 4** [オフネット間の転送をブロックする (Block OffNet to OffNet Transfer)] ドロップダウン リストから [はい (True)] を選択します。デフォルト値は False です。
- Step 5** [保存] をクリックします。

着信コールの設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	(オプション) クラスタ全体のサービスパラメータの設定 (4 ページ)	Cisco Unified Communications Manager クラスタですべてのゲートウェイまたはトランクを [オフネット (OffNet)] (外部) または [オンネット (OnNet)] (内部) として設定します。
Step 2	ゲートウェイでのコール転送制限の設定 (5 ページ)	[ゲートウェイの設定 (Gateway Configuration)] を使用して、ゲートウェイを [オンネット (OnNet)] (内部) または [オフネット (OffNet)] (外部) として設定します。この機能を、クラスタ全体のサービスパラメータ [オフネット間転送のブロック (Block OffNet to OffNet Transfer)] と共に使用する場合、設定によってコールをゲートウェイ経由で転送できるかどうかが決まります。 次のデバイスを内部デバイスおよび外部デバイスとして Cisco Unified Communications Manager に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • H.323 ゲートウェイ • MGCP FXO トランク • MGCP T1/E1 トランク

	コマンドまたはアクション	目的
Step 3	トランクでのコール転送制限の設定 (5 ページ)	<p>[トランクの設定 (Trunk Configuration)] を使用して、トランクを [オンネット (OnNet)] (内部) または [オフネット (OffNet)] (外部) として設定します。この機能を、クラスタ全体のサービスパラメータ [オフネット間転送のブロック (Block OffNet to OffNet Transfer)] と共に使用する場合、設定によってコールをトランク経由で転送できるかどうかが決まります。</p> <p>次のデバイスを内部デバイスおよび外部デバイスとして Cisco Unified Communications Manager に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • InterCluster Trunk; クラスタ間トランク • SIP トランク

クラスタ全体のサービスパラメータの設定

Cisco Unified Communications Manager クラスタで、すべてのゲートウェイまたはトランクを [オフネット (OffNet)] (外部) または [オンネット (OnNet)] (内部) と設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

[コール転送制限のサービスパラメータの設定 \(2 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** Cisco Unified CM の管理のユーザ インターフェイスから、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- Step 2** [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、[サーバ (Server)] ドロップダウンリストから、設定する Cisco Unified CM サーバを選択します。
- Step 3** [サービス (Service)] ドロップダウンリストから [Cisco CallManager (アクティブ) (Cisco CallManager (Active))] を選択します。
- Step 4** Choose either OffNet or OnNet (the default specifies OffNet) from the Call Classification drop-down list.
-

ゲートウェイでのコール転送制限の設定

オフネット、オンネットまたはシステム デフォルトの使用としてゲートウェイを設定するには、次の手順を実行します。システムはそれぞれオフネットまたはオンネットとしてのゲートウェイを通してネットワークに到達するコールと見なします。

始める前に

[クラスタ全体のサービス パラメータの設定 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [ゲートウェイ (Gateway)]。
- [ゲートウェイの検索と一覧表示 (Find and List Gateways)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 設定されているゲートウェイを一覧表示するには、[検索 (Find)] をクリックします。
- Unified Communications Manager で設定されたゲートウェイが表示されます。
- Step 3** オフネットまたはオンネットとして設定するゲートウェイを選択します。
- Step 4** [コールの分類 (Call Classification)] フィールドでオフネットまたはオンネットを選択します。クラスタ全体の制限をすべてのゲートウェイで有効にしている場合、各ゲートウェイを [システム デフォルトの使用 (Use System Default)] に設定します (つまり、コールの分類サービス パラメータをゲートウェイの設定として使用します)。
- Step 5** [保存] をクリックします。
-

トランクでのコール転送制限の設定

トランクを [オフネット (OffNet)]、[オンネット (OnNet)]、または [システムのデフォルトを使用 (Use System Default)] として設定するには、次の手順を実行します。[オフネット (OffNet)] または [オンネット (OnNet)] として設定されているトランクを通じてネットワークに届くコールは個々に考慮されます。

始める前に

[ゲートウェイでのコール転送制限の設定 \(5 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [トランク (Trunk)]。
- [トランクの検索と一覧表示 (Find and List Trunk)] ウィンドウが表示されます。

- Step 2** 設定済みのトランクを一覧表示するには、[検索 (Find)] をクリックします。
Unified Communications Manager で設定されたトランクが表示されます。
- Step 3** [オフネット (OffNet)] または [オンネット (OnNet)] として設定するトランクを選択します。
- Step 4** [コール分類 (Call Classification)] ドロップダウンリストから、次のいずれかのフィールドを選択します。
- [オフネット (OffNet)]: このフィールドを選択すると、ゲートウェイは外部ゲートウェイとして識別されます。[オフネット (OffNet)] として設定されているゲートウェイからコールが届くと、接続先デバイスに外部リングが送信されます。
 - [オンネット (OnNet)]: このフィールドを選択すると、ゲートウェイは内部ゲートウェイとして識別されます。[オンネット (OnNet)] として設定されているゲートウェイからコールが届くと、接続先デバイスに内部リングが送信されます。
 - [システムデフォルトの使用 (Use System Default)]: このフィールドを選択すると、Unified Communications Manager のクラスタ全体に対するサービス パラメータである [コールの分類 (Call Classification)] が使用されます。
- (注) すべてのトランクでクラスタ全体の制限を有効にした場合は、各トランクを [システムのデフォルトを使用 (Use System Default)] に設定します (つまり、[コール分類 (Call Classification)] サービス パラメータの設定が読み込まれ、その設定がトランクに使用されます)。
- Step 5** [保存] をクリックします。
-

発信コールの設定

コールをオンネットまたはオフネットとして分類するには、[ルートパターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウの [コール分類 (Call Classification)] フィールドをそれぞれオンネットまたはオフネットに管理者が設定します。管理者がルートパターン設定の上書きとトランクまたはゲートウェイ設定を使用ができるようにするには、[ルートパターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウの [デバイス上書き許可 (Allow Device Override)] チェックボックスをオンにします。

始める前に

[トランクでのコール転送制限の設定 \(5 ページ\)](#)

手順

- Step 1** Cisco Unified CM の管理から、[コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートパターン (Route Pattern)] を選択し、[検索 (Find)] をクリックしてすべてのルートパターンを一覧にします。

- Step 2** 設定したいルート パターンを選択するか、[新規追加] をクリックします。
- Step 3** [ルート パターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウで、ルート パターンの設定と転送機能を設定するには、次のフィールドを使用します。
- [コール分類 (Call Classification)]—オフネットまたはオンネットのルート パターンを使用してコールを分類するためにこのドロップダウン リストを使用します。
 - [外部のダイヤル トーン入力 (Provide Outside Dial Tone)]—コールの分類がオフネットに設定されると、このチェックボックスがチェックされます。
 - [デバイス上書き許可 (Allow Device Override)]—このチェックボックスをオンにすると、システムは、[ルート パターン設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウの [コール分類 (Call Classification)] ではなく、ルート パターンに関連付けられたトランクまたはゲートウェイのコール分類を使用します。
- Step 4** [保存] をクリックします。

外線コール転送の制限の連携動作

機能	データのやり取り
会議の破棄	会議の破棄機能は、会議の参加者がオフネットとオンネットのどちらに設定されているかをチェックすることにより、既存のアドホック会議を破棄する必要があるかどうかを決定します。この機能を設定するには、サービス パラメータの [アドホック会議の破棄 (Drop Ad Hoc Conference)] を使用して、オプションの [オンネット参加者が会議に残っていない場合 (When No OnNet Parties Remain in the Conference)] を選択します。参加者が使用しているデバイスまたはルートパターンをチェックすることにより、各参加者のオンネット ステータスを判断します。詳細については、「アドホック会議」の章からリンクしているアドホック会議に関するトピックを参照してください。
一括管理	一括管理は、ゲートウェイテンプレートにゲートウェイ設定 (オフネットまたはオンネット) を挿入します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

機能	データのやり取り
Dialed Number Analyzer (DNA)	ゲートウェイの番号分析に使用されている場合は、DNA にゲートウェイとルート パターン用に設定されたコール分類が表示されます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Dialed Number Analyzer Guide』を参照してください。

外線コール転送の制限

制約事項	説明
FXS ゲートウェイ	Cisco Catalyst 6000 24 ポートのような FXS ゲートウェイには [ゲートウェイの設定 (Gateway Configuration)] ウィンドウの [コールの分類 (Call Classification)] フィールドはありません。したがって、システムは常にそれらをオンネットと見なします。
Cisco VG248 ゲートウェイ	システムは [コールの分類 (Call Classification)] フィールドがない Cisco VG248 ゲートウェイをサポートしていません。
FXS ポート	Cisco Unified Communications Manager はすべての Cisco Unified IP 電話と FXS ポートをオフネット (外部) として設定できないオンネット (内部) と見なします。